

りっくんランドにびっくり



所長説明を受ける受験生達



フライトシミュレーター

神奈川地本横浜中央募集案内所（所長 宮山 2 陸尉）は、5月22日（金）、陸自広報センター（朝霞駐屯地・愛称「りっくんランド」）に、今年度、自衛官を目指す受験者2名を案内した。

陸自最大の広報施設である「りっくんランド」には、90式戦車や89式小銃をはじめ、ほとんどの装備品が展示されており、本物を目の前にした受験者は圧倒され、驚きと興奮の表情を浮かべていた。

宮山所長による、装備品や災害派遣等のわかりやすい説明や、体験コーナーをはじめ、迷彩服試着、フライトシミュレーターなども体験し、大いに楽しんでいった。また、年表などで、陸自の歩みや、自衛隊の任務・役割などの変遷についても積極的に学び、秋の試験に向けて意気込みを見せていた。

横浜中央募集案内所は、「今後も、自衛隊官を目指す受験者が一人でも多く入隊出来る様、全力で支援していく」としている。

「叩けば直ることもある」 海自第2術科学校研修に大満足

神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 縣 1 陸尉）は5月26日（火）、川崎幸ロータリークラブ22名の海上自衛隊第2術科学校研修を支援した。

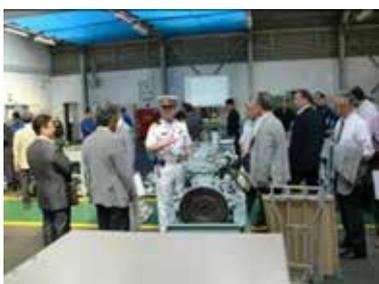
本研修は、川崎地区自衛官募集相談員の楠木市議より「川崎市の実業主に自衛隊への理解と関心を深めてもらいたい」という要望で実現した。

まずは、海軍機関術資料館と海上自衛隊創設史料館を研修し、海軍の歴史や海上自衛隊の創設に関する担当者の説明に、研修者は熱心に耳を傾けていた。

続く、内燃実習場の研修では、磁力に反応しない素材で製造された掃海艇用実習エンジンに「これはすごい」と感心した様子で触れてみたり、中でも最も旧式の実習用エンジン取扱説明書に書かれていた「叩けば直ることもある」という記述には笑いが起こるなど、終始和やかな雰囲気で行われた。

研修を終えた参加者からは、「短い時間だったけれど充実した内容だった」「史料館は素晴らしい説明と展示品の数々だった。もっとゆっくり研修したかった」等の感想が寄せられ、第2術科学校の研修に大満足の様子であった。

川崎出張所は、「今後も、県内に所在する部隊の歴史や現況、さらに勤務する隊員の活躍などについて広報し、自衛隊に対する理解と募集基盤の拡充に努めていく」としている。



ガスタービン講堂での研修



内燃実習場での研修



資料館の研修